

みずほCustomer Desk Report 2022/06/02 号 (As of 2022/06/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	128.89
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	128.75	1.0734	138.26	1.2611	0.7183
SYD-NY High	130.19	1.0739	138.97	1.2616	0.7231
SYD-NY Low	128.65	1.0627	138.16	1.2459	0.7156
NY 5:00 PM	130.17	1.0652	138.66	1.2483	0.7176
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,813.23	▲ 176.89	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	11,994.46	▲ 86.93	日本10年債	0.2300%	▲0.0100%
S&P	4,101.23	▲ 30.92	米国2年債	2.6467%	0.0851%
日経平均	27,457.89	178.09	米国5年債	2.9152%	0.0953%
TOPIX	1,938.64	25.97	米国10年債	2.9104%	0.0618%
シカゴ日経先物	27,440.00	255.00	独10年債	1.1785%	0.0540%
ロンドンFT	7,532.95	▲ 74.71	英10年債	2.1480%	0.0510%
DAX	14,340.47	▲ 47.88	豪10年債	3.4120%	0.0580%
ハンセン指数	21,294.94	▲ 120.26	USDJPY 1M Vol	10.10%	0.46%
上海総合	3,182.16	▲ 4.27	USDJPY 3M Vol	9.69%	0.46%
NY金	1,848.70	0.30	USDJPY 6M Vol	9.40%	0.40%
WTI	115.26	0.59	USDJPY 1M 25RR	▲0.11%	Yen Call Over
CRB指数	320.02	3.49	EURJPY 3M Vol	10.13%	0.23%
ドルインデックス	102.50	0.75	EURJPY 6M Vol	9.99%	0.23%

東京	東京時間のドル円は、128.75レベルでオープン。日経平均株価や米株先物が底堅く推移する中、ドル円は終日じりじりと上昇。米長期金利が高止まりとなったことも相場の支えとなり、129.29まで上昇した後、129.25レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は129.25レベルでオープンし、ドル高が継続。129.61円まで上昇し、5月17日以来の高値を更新。129.55レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円台後半でスタート。米金利上昇や米株先物の堅調推移が進む中、難なく129円を突破。早朝には129.61まで上値を伸ばし、ニューヨーク時間は129.55レベルでオープン。朝方は海外時間に大きく上昇した反動で129.21まで売られるが、10時発表の米5月ISM製造業景況指数が予想以上に強い結果だったことを受けて米金利が急伸し、ドル円も130円手前まで買われた。130円ちょうど付近では利益確定売りも観測されたが、米長期金利が2.95%付近まで上昇を続けたことから、買い優勢の流れが続き、約3週間ぶりの水準となる130.13まで上昇。午後高値圏でしっかり。欧州通貨の売りが一巡し、ドル買いは一服するも、午前中に下げていた米株の下げ幅縮小が円売りをサポートし、じり高推移で130.19まで高値を更新。14時に最新の米ページブックが公表され「大半の地区で物価が強くしっかり上昇」、「一部エリアで経済成長が減速」と伝わるもサプライズはなく、市場は反応薄。終盤は小動きとなり、結局、130.17レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。米金利上昇を眺めドルが買われ1.07台前半まで下落するが、その後、ホルツマン・オーストリア中銀総裁の50bp利上げを支持する発言が伝わったことからユーロ買いで反応し、1.0739まで上昇。反落後、ニューヨーク時間は1.0709レベルでオープン。朝方は1.0731まで上昇するが、ISM製造業景況指数の結果にドル買いで反応したことから1.07レベルを割り込む。5月中旬から続いていたユーロ買いの反動もあり、売りは加速し、一時1.0627をタッチ。午後は小幅反発後、1.0650近辺で上値重く推移し、結局、1.0652レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：西・逸見

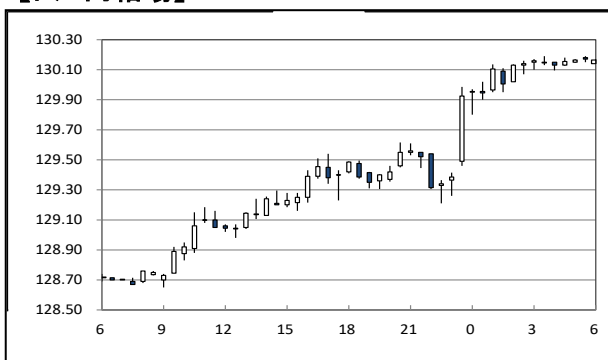
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月1日	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 56.1	54.5
6月2日	03:00	米 ページブック	大半の地区で物価がしっかり上昇 一部エリアで経済成長が減速	

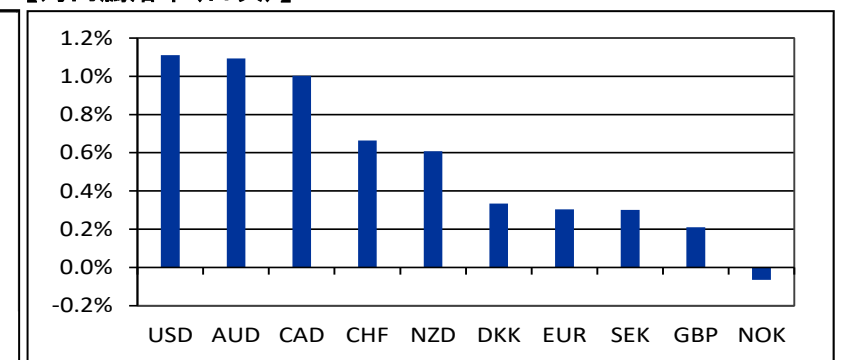
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月2日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 2.0%/38.2%	5.3%/36.8%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 300k	247k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	28-May 210k	210k
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	4月 -	2.1%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	4月 0.7%	1.8%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	4月 0.4%	0.4%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	4月 0.3%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.50-131.00	1.0600-1.0750	138.00-139.60

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は、128.75レベルでオープン。前日のFRB高官のタカ派発言を受けて米長期金利が高止まりする中、ドル買いの流れが継続してドル円は129を突破。海外時間に入ると前月比低下が予想されていた米5月ISM製造業景況指数が市場予想を上回る強い結果だったことから、米長期金利が一時2.95%付近まで上昇してドル円も急伸。130も突破すると、約3週間ぶりの高値となる130.19を付け、130.17でクローズした。

本日のドル円も堅調推移を予想。米長期金利は高止まりしており、ドル買い優勢の展開は続くと思われる。FRB高官のタカ派スタンスが続いていることもサポート材料となる。一方、インフレピークアウト懸念にも注意が必要だ。ページブックでも景気減速が指摘され、ISM製造業景況指数の中でも雇用については1年半ぶりに50割れとなった。金曜の雇用統計が注目されるが、その参考指標となる本日発表のADP雇用統計の結果でも米経済の景気減速を示唆する結果となれば、ドル円下押し圧力となる可能性があるため、警戒しておきたい。